

自然感

くすのき



季節感

医者いらずの別名を持ち鑑賞用と言うより薬用として良く栽培されている。江戸時代に渡来したアフリカ原産のユリ科の多年草で冬に朱色の筒状の花を多数付ける。これが大名行列の毛槍の様に見えることもない…

『アロエの花』

平成24年2月2日
福岡市早良区重留
大塚俊樹



熊洞居人独言

#69

kuma は2月4日(土)に、午前中は筑紫野市の南部にある五郎山古墳と筑紫神社で、午後は小郡市三沢の九州歴史資料館で、それぞれ小学校低学年生～幼児・幼稚園児を中心とした子供たちの観察会やどんぐりクッキー作りなどの行事に参加した。

午前中の観察会は次の通りである。筑紫野市筑紫地区公民館が主催する子供たちの観察会は、企画には kuma も参加して、春・夏・秋・冬の各季節、一年に4回行う事が決定された。今回の観察会は4回目であった。まず最初に五郎山古墳へ登り、古墳の周辺の木や草を見ながら冬の姿の解説を行い、この中で一部で見られる昆虫達や、サルなどが餌としているドングリなどの木の実などを解説した。子供たちは大喜びで、色々なものの観察を行っていた。この「五郎山古墳」は西暦600年代に造られた古墳で、古代のこの付近にあった国の国王が葬られていたと考えられている。この古墳は、昭和24年に国の史跡に指定されている。次に山頂(標高69m)にある「金比羅神社」に上がり、この神は今でもこの付近の住民達の健康を守っていると、子供たちに説明し、御参りの仕方を指導した。

神社の横にあるルートを下って山を降り、道路に出て「筑紫神社」へと歩いた。神社の入り口にある鳥居をくぐると、右側に池が有り、春から秋にかけてはカメや、フナなどの魚を見ることが出来ると説明をした。石段を登ると途中に車道があるが、この道は江戸時代には江戸に向う街道＝長崎街道であったことを説明した。子供達には意味が判りにくかったようだが、母親達は喜んで聞いてくれていた。付近の町は長崎街道の宿場の一つ「原田の宿」であった事を説明すると、近隣の住民である参加者達は喜んで聞いてくれた。神社本殿がある広場には「オガタマ」の木が3本植えてあり、この樹木は歴史のある神社の境内には必ず植えてある事を説明して上げた。その内の1本は胸高直径約90cm樹高約26mの巨木で有り、福岡県内で最高に大きなオガタマと考えられる。

◇お知らせ◇

◇都市公園で自然観察会9◇

春日公園で、早春の植物や昆虫や動物などをゆっくりと観察します。

- ◆日時：2月19日(日)
集合14時00分～解散16時00分
- ◆開催場所：春日公園の旧公園管理センター
〔自然かんさつ館〕

連絡先：担当者名 田村 耕作
TEL 092-400-1765 [FAX兼用]
Eメール kurabird-.tamura@nifty.com

◇青少年アンビシャス運動シンポジウム◇

- ◆日時：3月4日(日)13時～16時
- ◆場所：アクロス福岡イベントホール
(福岡市中央区天神1-1-1)
- ◆入場無料 / 先着順
- ☆特別講演 「夢を叶える成功の秘訣」
宇宙飛行士・山崎直子さん

問い合わせ先：福岡県青少年アンビシャス運動推進室
TEL 092-643-3615

日本野鳥の会 福岡 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

2/19（日）3/18（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時間：9:00～12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

2/25（土）3/24（土）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時間：8:00～11:00
集合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

3/4（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時間：9:00～12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

3/10（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時間：9:00～12:00
集合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

3/11（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時間：9:00～12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3/6（火）
県営春日公園（春日市）
時間：10:00～12:00
集合：旧公園管理センター前
問合せ：090-7390-3561（小野仁）

日本野鳥の会 筑後 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

1/22（日）
濃施山公園（大牟田市）
時間：9:00～
場所：濃施山公園すいせん端・

交通：JR 渡瀬駅より徒歩10分
問合せ：0944-58-1672
（野田達行）



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3/3（土）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集合：九州歴史資料館駐車場
時間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ200円（保険料込）
その次は4月7日
ブログは 三国丘陵 [検索](#) ですぐ
にヒットします。



三国丘陵の自然を楽しむ会観察会の様子

久留米の自然を守る会 主催

3/25（日）第396回例会
筑後川春の野草を楽しむ会
春の旬の食べられる野草・菜草を食べて
味わいます。野草を河川敷で摘み、皆で
調理して安全で体に安心な野草を食べ
て、元気になりましょう。
集合：くるめウス
時間：9:30～14:00
参加費：400円 定員50名
持ち物：おわん、お皿、おはし、
お茶
注意：要 事前申し込み
問合せ：0942-46-8622（古賀）
共催：筑後川博物館運営委員会

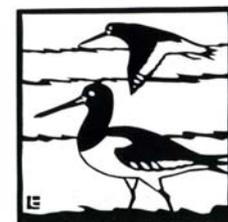


コサギの群れとアオサギ このところいつも一緒にいる 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

2/25（土）
守る会定例会議
時間：10:30～13:00
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2/25（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



～・～春日公園自然観察日記～・～

報告 田村耕作

●第7回2011年12月18日(日)

この日は参加者が私を含め5名でした。公園の冬鳥を楽しみました。

カワラヒワの群れが忙しく行ったり来たりしつつ、アメリカフウや台湾フウの実を啄んでいました。ハクセキレイは芝生広場でうろうろ、ツグミは木に止まっている姿は見かけたのですが、草地には下りてきませんでした。

上空に出現したハイタカは狩りの途中か、何回か急降下を見せてくれた。シジウカラ、エナガ、コゲラ、メジロの混群らしき状態が観察できました。

調整池では、しばらく見かけなかったカイツブリ、常連のアオサギとアヒル、冬鳥のハシビロガモとマガモを見かけました。

ほかに、ウグイス、キジバト、ヒヨドリ、シロハラ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、おまけにイカルも1羽姿を見ることができました。合わせて23種を記録しました。

毎月歩いているのに、新たな発見に感動がありました。

やっぱり自然観察は 一期一会ですね。

●第8回2012年1月16日(日)

この日は参加者が私を含め5名でした。公園の冬芽を楽しみました。

自然かんさつ館そばのレンギョウは、ちらほらと開花していました。

アオギリ、ムクノキ、ナワシログミ、クヌギ、イチヨウ、ホルトノキ、ユズリハ、ソメイヨシノ、ウバメガシ、マテバシイ、ボケ、ドウダンツツジ、サンゴジュ、アメリカフウや台湾フウなどを楽しみました。下段の右(①)、左(②)、公園で探してください。

↓レンギョウは、ちらほらと開花↓



↓ソメイヨシノの花芽は、どれでしょうか?↓



漆の里山 保全行動計画作りワークショップに参加しました

主催：公益財団法人日本自然保護協会・NPO 法人うるし里山ミュージアム

協賛：始良市 後援：始良市教育委員会 協力：始良市立漆小学校

開催の目的

漆地区は環境省が実施するモニタリングサイト 1000 の里地調査重点調査地区に指定される、美しい里やま景観と豊かな生物多様性が残されている地域です。しかし農業の担い手不足や高齢化などにより耕作放棄が進み、里やまの生物多様性の今後の維持が危ぶまれています。そこで漆地区の自然環境を保全していくことを目的に、関係者（行政関係者・住民・モニタリング調査員など）とともに、漆地区の自然環境を今後も保っていくためにはどのような課題があり、どう解決をしていくかをみなで話し合い、行動計画を作り上げます。

●日時 2012年1月27日(金)～1月29日(日)

●会場 27日：〒899-5301 鹿児島県始良市蒲生町漆 317 生活改善センター、
28日・29日：始良市立漆小学校

薩摩地域の里山、現在の様子を知りたくて、またモニタリングサイト 1000 の里地調査重点調査地区に指定されているので、野次馬の気持ちも手伝って、福岡から漆の里まで 250 km を旅してきました。

地元の人たちの案内で、わくわくしながら散策しました。イノシシ・ノウサギ・シカの糞を発見、ヤマアカガエルの卵塊もありました。ニュウナイスズメの大きな群れにも久しぶりに出会いました。

ワークショップも大変ためになり、いろいろ考えさせられました。でも、早朝の散策、わくわくしつつ楽しみました。

小さな小川で 散策中



糞もいろいろありました



久しぶりのニュウナイスズメの大きな群れ



今年初めてのふきのとう



報告・田字草

春日公園で大きな出来事がありました。

フクロウが保護されました。なぜか動けなかったようでした。動物園で手当てされることになりました。

2/10 報告・IN



平成23年(2011年)の、旧暦の冬は10月27日から2012年1月22日まで。そのうち、12月25日から2012年1月22日までが旧暦の師走(12月)で、「晩冬」にあたります。 今月は、私のデジカメ日誌から、晩冬に出会った「季節感」をいくつかご紹介します。



旧暦の歳時記

平成23年晩冬
写真と文:本のむし

冬の野面にスズメとカラスはよく似合う。元旦に見るものを初鴉、初雀と季題にしているくらいである。小学生の頃好きだった唱歌に「田舎の冬」があり、「むら雀」が出てくる。当初「村雀」と思っていたが、鳥を見るようになって「群雀」だと理解した。作曲は「真宗宗歌」の鳥崎赤太郎氏と知ったのも最近のことであった。

1月9日(旧12月16日)筑紫野市天山



これはコガモ。筑紫野市で2007年に141羽カウントしたものが、今年は29羽。宝満川の河川改修で葦原が減っていることも要因だと感じている。美しい景観に無駄は無いのに。

1月9日(旧12月16日)筑紫野市阿志岐



お隣のロウバイが今年も花開いている。甘酸っぱい梅に似た香りである。花びらは蜜蝋に似た質感だが、名前の由来は旧12月の別名「蠟月」に咲くところからきているようだ。

1月17日(旧12月24日)筑紫野市天拝坂

寒雀呼ばるる如く翔ちにけり
群雀一気に放つ大冬木 須田英子
けふの糧に幸足る汝や寒雀 久女

小川原嘘師

鳥の目をして枯葦を透かし見る
水底を見て来た顔の小鴨かな 文草

きのふけふ蠟梅の香に如くはなし
蠟梅の落とす雫に香りあり

川上朴史 青畝



阿蘇五岳の一つ「往生岳」山麓の牧(まき)。この景観は自然状態ではなく里山と同じように千年に及ぶ牧野利用の結果であり、この地の生活にしっかり根ざした文化的景観である。
1月1日(旧12月8日)熊本県阿蘇市乙姫



オシドリに今年も出会うことができた。県の準絶滅危惧種だが、当たり前のように居てくれることのありがたさ。
1月8日(旧12月15日)筑紫野市山口天拝湖



御笠川沿いで見かけたヒメアカタテハ。久々の暖かな冬日和に1頭だけ静かに蜜を吸っていた。今年の冬はメジロやヒヨドリなどの小禽がことのほか少ないとよく聞く。そういえば蝶や蛾などの虫たちも少ないように感じる。
1月21日(旧12月28日)太宰府市観世音寺

今回の季語は、「冬木」「寒雀」「枯野」「鴨」「枯れ葦」「鴛鴦(おしどり)」「蠟梅」「凍て蝶」でした。

塩舐めてまなこやさしき枯野牛 菅原多つを
よわよわと日のゆきとどく枯野かな 麦水

彩となり五六羽ならず鴛鴦飛来 美穂女
天命は天にあづけて鴛鴦流る 秋子

凍蝶のいのちの翳の漂へる 鈴木栄子
凍蝶のふと翳つかふ白昼夢 野澤節子



↑↑これは何だか分かりますか？

元旦に阿蘇山ろくの林の中で見かけたものです。

これは何に見えますか？

《前回(198号)の解答》昆虫の仲間・ツチハンミョウ科ヒメツチハンミョウのみでした。ファーブルは「これは重たげな布袋腹を抱えた実にみっともないこがねむしだ」と「昆虫記」に書いています。しかし、私には「カンタリジン」のことがなければ、少し黒味のある瑠璃色の虫を手にとりて遊びたい衝動に駆られます。ファーブルは手にして、油っぽいや黄ばんだ液汁を彼の血液と言っていて、汚れとにおいを気にしているようです。春にアザミの花などでハナバチを待っているというこの虫の幼虫を見たいものです。
出題(写真)は「本のむし」でした。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について
それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

皆に知らせたいことはありませんか？
皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか？
本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として**毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで**自然案内舎(有)クラブにて行っています。会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！
次回の定例会は、平成24年3月9日(金)午後6時より事務局で行います。3月号の原稿は、3/5(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。
※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しく申し上げます。

他団体の会報の紹介

- ・福岡植物友の会 会報 平成24年1月号・2月号 第53巻
- ・福岡植物友の会 あすなろ 平成24年1月 第46巻
- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第130号 12. 02. 01
- ・久留米の自然を守る会 久留米の自然 第114号 12. 01. 01
- ・自然観察指導員熊本県連絡会 会報自然観察 第141号 12. 01. 24
- ・福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.56 2012Winter
- ・NPO法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 No. 168 2012年 2月1日

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：冷川昌彦/事務局長：小野 仁/
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 1月の定例発送会は、大塚俊樹・山本勝・田村耕作が参加。今、最も寒い頃でしょうか。1/27から1/29まで、鹿児島県姶良市の漆で里山の生きものがずっと生きていくには農業が継続していくことが重要、そのためにはどうするか、というワークショップが開催されました。そこに参加して、1日目の里山の散策で、ふきのとうを見かけました。早春を感じました。この地も使われぬ農地が広がっているそうです。田字草

